

## 第6学年2組 道徳学習指導案

指導者

1 主題名 礼儀は心のあらわれ 2 - (1) 礼儀

### 2 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする指導内容

内容項目2-(1)は「時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。」とあり、低学年の「気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて明るく生活する。」中学年の「礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。」という内容を受けて、高学年ではそれらの発展として、礼儀の大切さへの理解を基盤とし、時と場をわきまえ、真心をもって人と接する態度が求められている。

礼儀とは、相手を敬い親しむ気持ちを言葉や行為に表すことである。毎日の生活の中で、みんなが気持ちよく生活し合うために存在するものであり、決して形式的なものではない。古代から伝わる礼儀作法の一つ一つにも、相手のことを考えて接していこうとする意味合いが必ずあり、お互いを尊重し、人間関係を円滑にしていくために続けられてきた。

そこで、礼儀正しくすることの意味を改めて考え直すことで、真心を込めた礼儀正しい態度を養っていきたいと考え、本主題を設定した。

#### (2) 児童の実態

本主題にかかわる児童の実態調査(平成19年9月20日実施, 6年2組31人)

あいさつはしていますか。それはどうしてですか。	
【はいと答えた児童・・・23人】	あいさつすると気持ちがいい(14人) 大切なこと(4人) お互いに気持ちよくなる(3人) 相手があいさつしてくれるから(2人)
【ときどきと答えた児童・・・8人】	忘れることがある(6人) 面倒だ(1人) そのときの気分です(1人)
さわやかマナーアップ週間を意識して生活していますか。それはどうしてですか。	
【はいと答えた児童・・・7人】	大切なこと(7人)
【ときどきと答えた児童・・・24人】	忘れることがある(23人) 面倒だ(1人)
自分でいつも気をつけている礼儀はありますか。それはどうしてですか。	
【はいと答えた児童・・・29人】	礼儀は大切(12人) 相手に失礼だから(9人) 気持ちがよくなるから(8人) 【いいえと答えた児童・・・2人】 習慣になっていないから(2人)
あなたにとって礼儀とはどんなことですか。	
きちんとしたあいさつやマナー(11人)	やって当たり前のこと(5人)
相手のことを考えて行動すること(3人)	目上の人に失礼のないこと(3人)
みんなが気持ちよく生活できること(3人)	生活していくうえで大切なこと(3人)
お互いにうれしくなること(2人)	無回答(1人)

本主題にかかわる実態調査によると、多くの児童が「あいさつをすると気持ちがいい」「あいさつは大切」と答えている。しかし、さわやかマナーアップの実態調査をみると、マナーアップを意識して生活をしている児童が少ない。このことから、あいさつが礼儀として身に付いているのではなく、単なる習慣としてあいさつをしていると考えられる。

礼儀の意義については多くの児童が理解している。生活の中で礼儀が定着している児童も見られるが、礼儀の大切さは理解していてもなかなか実行に移すことができない児童も少なくない。

そこで、心と形が一体となった礼儀の大切さに気付かせ、形として表すことができるようにしたい。

#### (3) 資料について 「江戸しぐさ」(東京書籍 明日をめざして)

この資料は、「かさかしげ」「肩ひき」「こぶし腰うかせ」といった江戸しぐさから、礼儀とは何かを考えることができる資料である。さらに、江戸の人々がどのような気持ちから江戸しぐさを大切にされたのか、現代に置きかえてみるとどうだろうかと、私たちの生きる今の時代の礼儀について深く考えることができる資料でもある。

資料のもとになっている『江戸の繁盛しぐさ』の著者である越川禮子氏は、「口を開けば国際化とよく言われますが、まずは自国の伝承文化である江戸しぐさをしっかり見直し、把握することが必要だと思えます。」と言っている。このように、江戸しぐさを見直し、さらに江戸時代に生きた人々の気持ちを考えることで、ねらいとする価値に迫っていきたい。

### 3 道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を高めるための手だてについて

道徳的価値の自覚を深める手だてとして、「かさかしげ」「肩ひき」「こぶし腰うかせ」といった江戸しぐさを実際に体験する活動を取り入れる。その活動を通して、児童の視点が江戸時代に生きた人々に近づくことができ、江戸しぐさがいかに相手を気遣う行動であるかを実感することができるであろう。さらに、「江戸時代を生きた人々は、どのような気持ちから江戸しぐさを大切にされたのか。」という江戸しぐさの本質に迫る手だてにもなるものと考えられる。

また、児童自身の生活を振り返るために、「さわやかマナーアップカード」を活用する時間を設ける。「さわやかマナーアップカード」を見ることで、これまでの自分の生活を振り返り、江戸のまちに生きる人々のように心こもった礼儀がなされていたかについて考えることができるようにする。このことは、これからの自分を考え、さらにさわやかマナーアップ活動の取組を活性化できるものとも考える。

4 本時の学習

(1) ねらい

礼儀は心の様子を表わすことを知り，心のこもった礼儀を大切にして，時と場に応じて礼儀正しく生活しようとする態度を養う。

(2) 準備

場面絵（江戸時代のまちの様子絵，「かさかしげ」「肩ひき」の絵）

ワークシート，資料プリント，掲示用カード，VTR（登校時の様子，公共広告機構のCM）

(3) 展開

：中心発問

主な学習活動と発問	予想される児童の反応	指導上の留意点・評価（ ）
1 VTRを見て，気が付いたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>傘がぶつかり合って歩きづらそう。</li> <li>昇降口が狭くたいへんだ。</li> <li>ぶつかっているのに知らんぷりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日の登校時は，傘がぶつかり合ったり，昇降口が混雑したりして大変なことに気付くことができるようにし，資料への方向付けを図る。</li> </ul>
<p>2 資料「江戸しぐさ」を読んで話し合う。</p> <p>(1) 江戸のまちの様子について気が付いたことを発表する。</p> <p>(2) 資料を読み，「かさかしげ」「肩ひき」「こぶし腰うかせ」を体験し，江戸のまちに住む人々が，どのような気持ちから江戸しぐさを大切にされたのか考える。江戸しぐさを体験して，どんなことを感じましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たくさんの人でにぎわっている。</li> <li>道が狭い。</li> <li>いい気分になった。</li> <li>さりげなくできた。</li> <li>相手の気持ちを考えることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由に発言できる雰囲気にし，さらに本資料への興味をもつことができるようにする。</li> <li>資料を読む前に，VTR（公共広告機構のCM）を見ることで資料への興味をもつことができるようにする。</li> <li>会話はせずに，「しぐさ」のみをするよう指示する。</li> <li>体験から，感想をさらに深め，江戸しぐさをするには，相手が存在することを確認することで中心発問へとつなげていけるようにする。</li> </ul>
<p>江戸のまちに住む人々は，どのような気持ちから江戸しぐさを大切にされたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちよく暮らしたいという思い。</li> <li>トラブルにならないように。</li> <li>相手のことを思う気持ち。</li> <li>自分も相手も気持ちよく暮らせるように。</li> <li>相手をいやな気持ちにさせないため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に体験したときの気持ちと江戸のまちに住む人々の気持ちを重ね合わせて考えることができるようにする。</li> <li>児童同士の話合いから江戸しぐさの本質に迫れるように，補助発問を工夫する。江戸しぐさを大切にしてきた江戸の人々の気持ちを考え，感じ取ることができたか。</li> </ul>
3 さわやかマナーアップカードを見ながら，これまでの自分の生活を振り返り，これからの自分について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>さわやかマナーアップ週間では，自分で決めたことを必ず実践する。</li> <li>あいさつは心をこめてする。</li> <li>お互いが気持ちよく生活するためにはルールやマナーを大切にすることが必要。</li> <li>形だけではなく，真心をこめて人と接していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さわやかマナーアップカードを見ることで，これまでの自分の生活を振り返り，これからの自分についても考えることができるようにする。礼儀について考え，今後の自分の生活に生かそうと思いを深めることができたか。（発表・観察・ワークシート）</li> </ul>
4 教師の説話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞の投書から，江戸しぐさにまつわる話を紹介することで，余韻をもって終わることができるようにする。</li> </ul>

5 評価

社会の一員として，心のこもった礼儀の大切さに気付き，実践しようとする気持ちをもつことができたか。

6 関連・発展

日常生活の中で，真心をもってあいさつしたり接したりする機会を多くもつようにし，各場面で賞賛し，意欲が継続するようにする。さわやかマナーアップ活動の中でも，さわやかマナーアップカードを活用しながら，自分を振り返り，さらに礼儀正しい態度で生活できるよう家庭とも連携を図っていく。